

3 愛媛県のイメージ

問 26 現在の愛媛県のイメージ

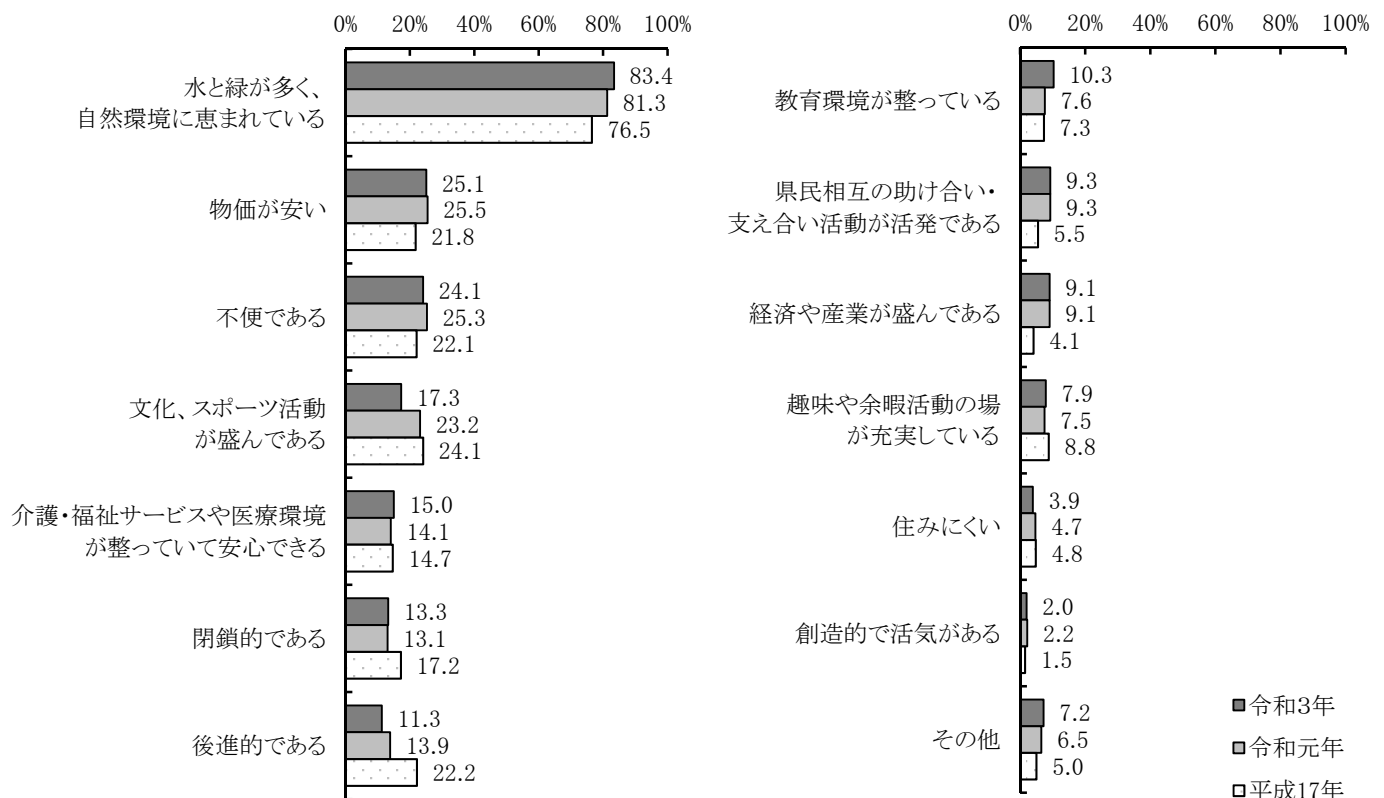
あなたは、今、愛媛県をどんなところと思っていますか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。

(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	83.4
2	物価が安い	25.1
3	経済や産業が盛んである	9.1
4	教育環境が整っている	10.3
5	介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる	15.0
6	趣味や余暇活動の場が充実している	7.9
7	文化、スポーツ活動が盛んである	17.3
8	創造的で活気がある	2.0
9	県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である	9.3
10	後進的である	11.3
11	住みにくい	3.9
12	閉鎖的である	13.3
13	不便である	24.1
14	その他	7.2

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が83.4%と最も多く、以下「物価が安い」(25.1%)、「不便である」(24.1%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(17.3%)、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」(15.0%)などの順となっている。

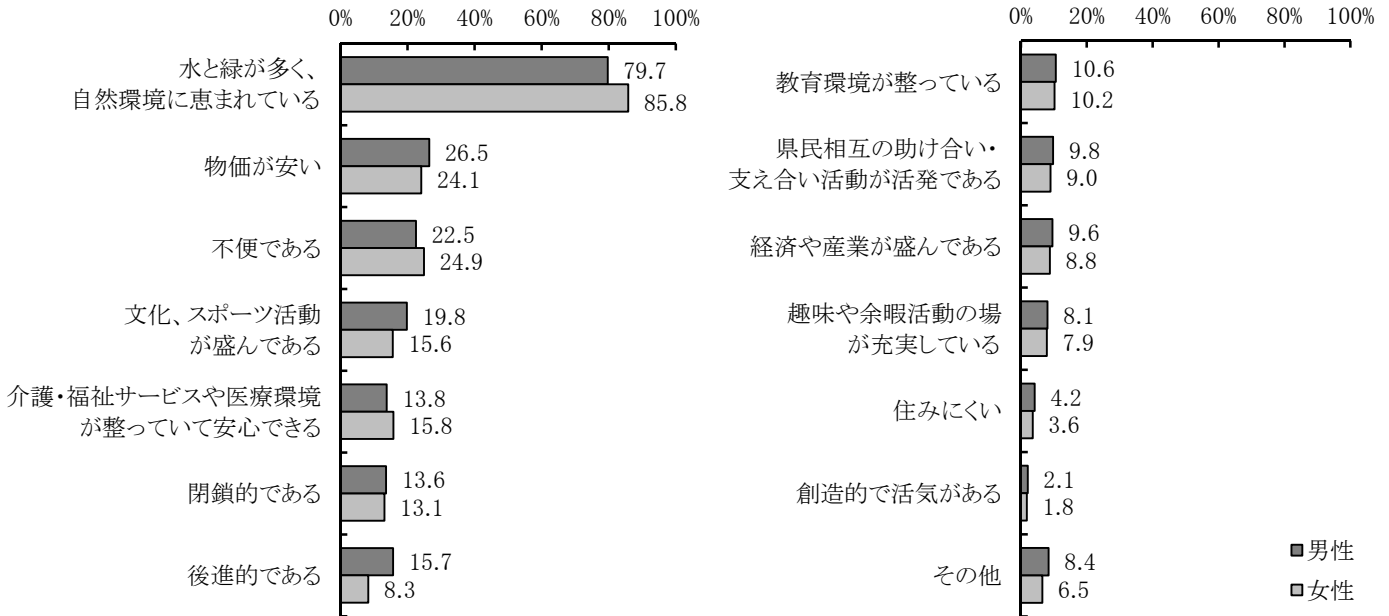
また、前回調査と比較すると、「教育環境が整っている」と答えた人の割合は、2.7ポイント増加し、「文化、スポーツ活動が盛んである」は、5.9ポイント減少している。



【性別】

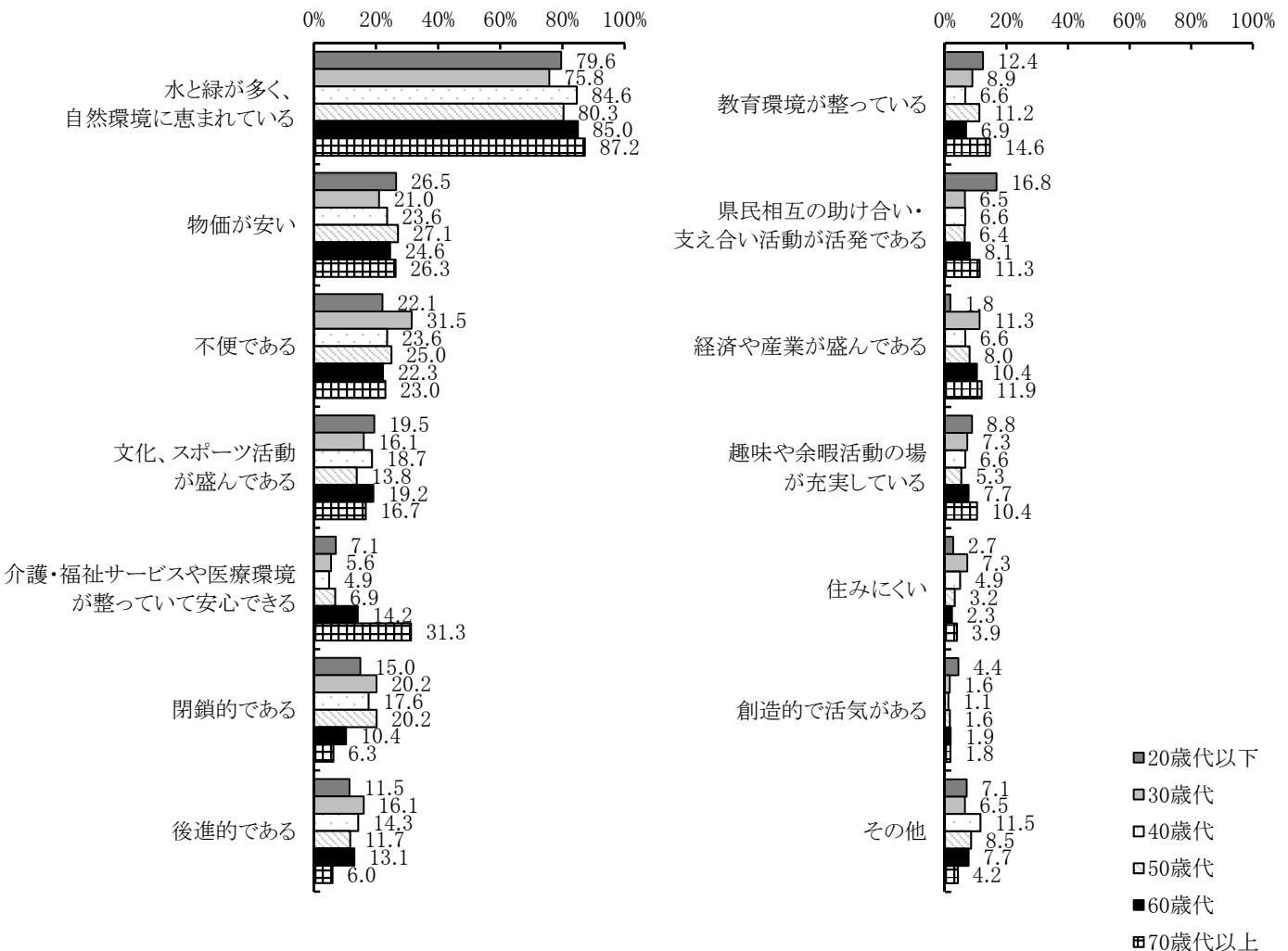
性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。(男性 79.7%、女性 85.8%)

また、男性の方が多いのは、「物価が安い」、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」などで、女性の方が多いのは、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」、「不便である」、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」などとなっている。



【年齢別】

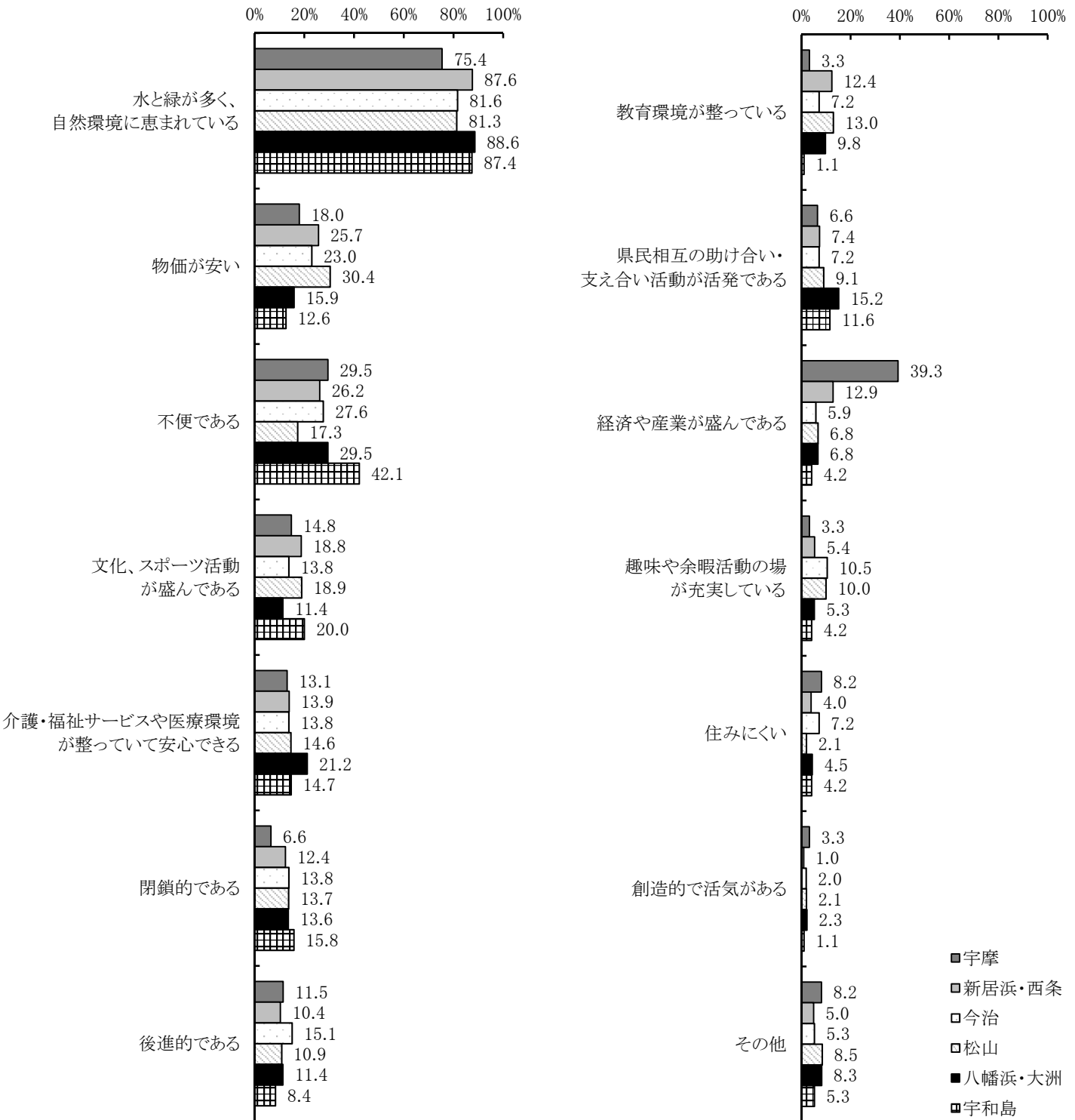
年齢別にみると、全ての年齢層で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。「不便である」と答えた人の割合は、30歳代で、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は、70歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。宇和島圏域では「不便である」と答えた人の割合が多く、宇摩圏域では、「経済や産業が盛んである」が他の圏域と比較して多く、松山圏域では、「物価が安い」が多くなっている。

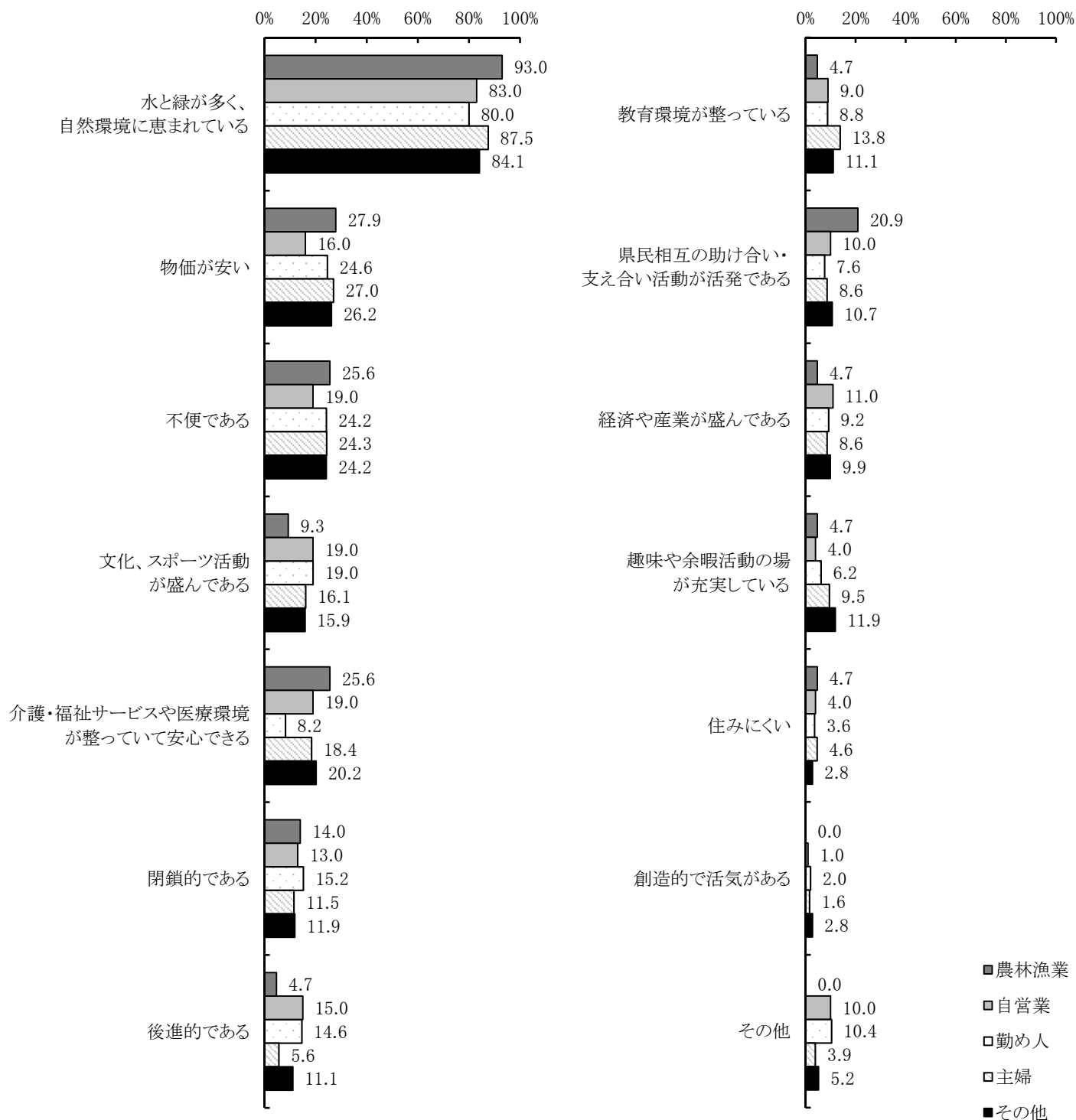
また、前回調査と比較すると、「文化、スポーツ活動が盛んである」と答えた人の割合は、今治圏域で9.9ポイント減少し、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合は、宇摩圏域で9.3ポイント増加している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。自営業を除く全ての職種で、「物価が安い」及び「不便である」と答えた人の割合が多くなっている。

また、前回調査と比較すると、自営業では、「物価が安い」と答えた人の割合が16.9ポイント、「不便である」が5.3ポイント減少している。農林漁業では、「物価が安い」と答えた人の割合が12.7ポイント、「県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である」が5.7ポイント増加している。



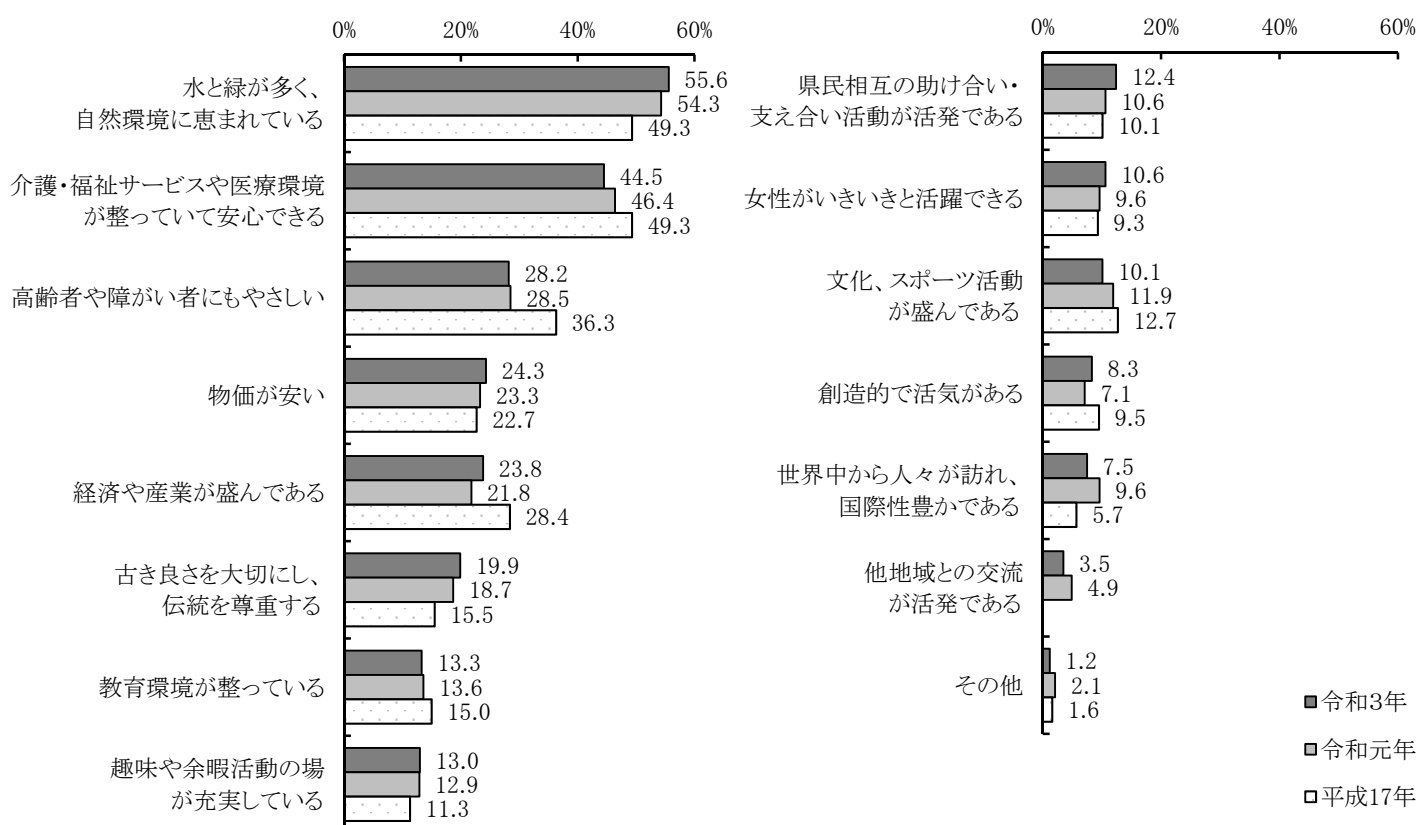
問 27 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 水と緑が多く、自然環境に恵まれている		55.6
2 物価が安い		24.3
3 経済や産業が盛んである		23.8
4 教育環境が整っている		13.3
5 介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる		44.5
6 趣味や余暇活動の場が充実している		13.0
7 文化、スポーツ活動が盛んである		10.1
8 創造的で活気がある		8.3
9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である		12.4
10 古き良さを大切にし、伝統を尊重する		19.9
11 他地域との交流が活発である		3.5
12 世界中から人々が訪れ、国際性豊かである		7.5
13 高齢者や障がい者にもやさしい		28.2
14 女性がいきいきと活躍できる		10.6
15 その他		1.2

愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が55.6%と最も多く、以下「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」(44.5%)、「高齢者や障がい者にもやさしい」(28.2%)、「物価が安い」(24.3%)、「経済や産業が盛んである」(23.8%)、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」(19.9%)などの順となっている。

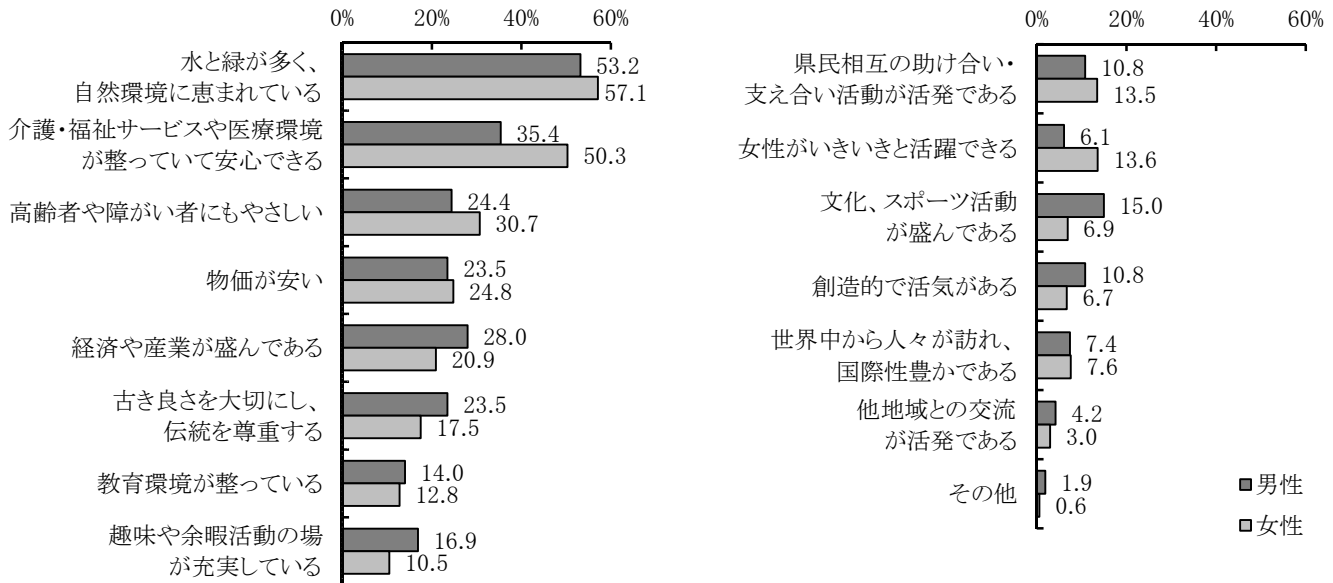
また、前回調査と比較すると、「県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である」と答えた人の割合が、1.8ポイント増加し、「世界中から人々が訪れ、国際性豊かである」が、2.1ポイント、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が、1.9ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。

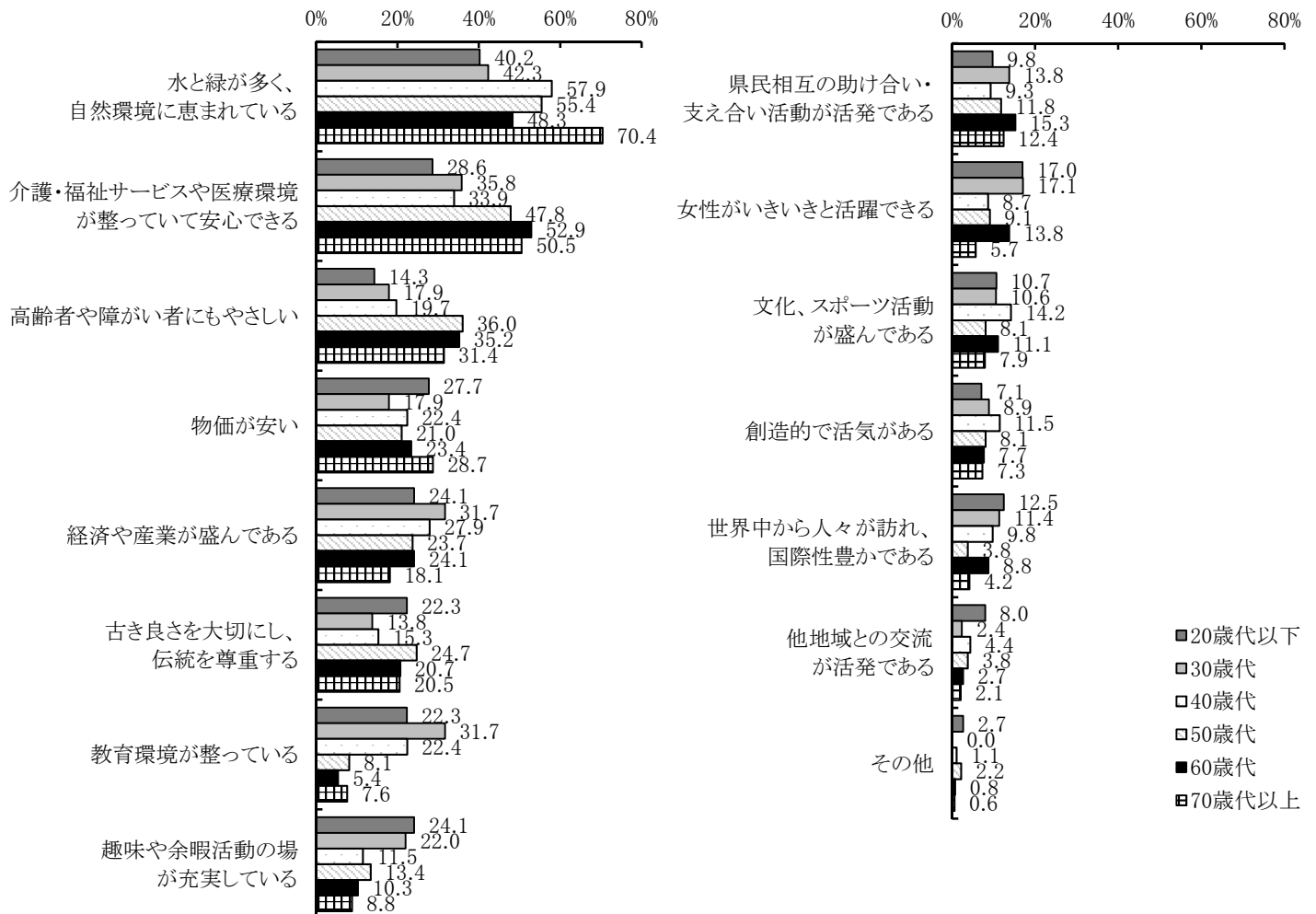
また、男性の方が多いのは、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「経済や産業が盛んである」、「趣味や余暇活動の場が充実している」など、女性の方が多いのは、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」、「女性がいきいきと活躍できる」、「高齢者や障がい者にもやさしい」などとなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、60歳代を除く全ての年齢層で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多く、60歳代では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。「高齢者や障がい者にもやさしい」は、50歳代以上で多く、3割台となっている。

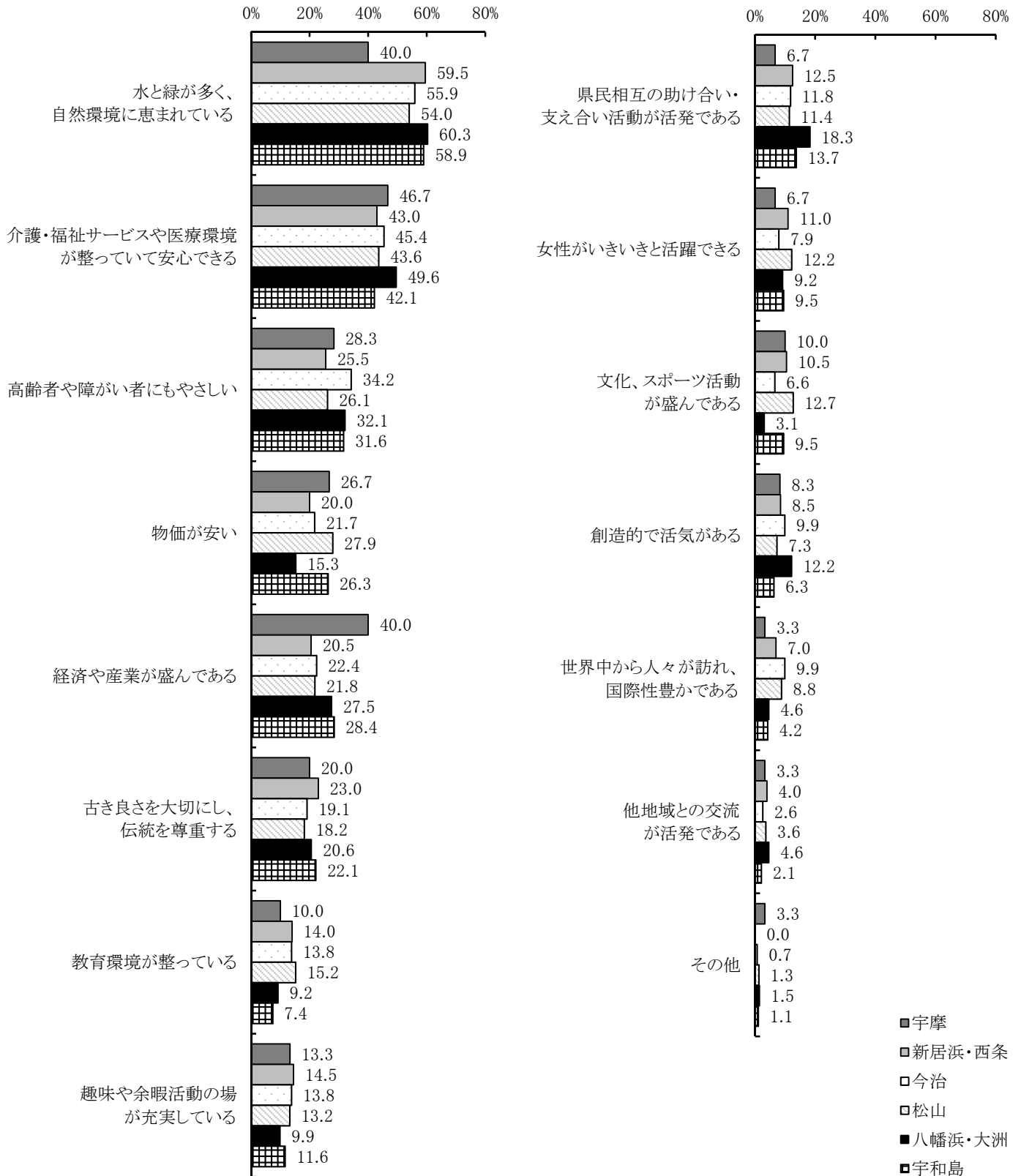
また、前回調査と比較すると、30歳代では、「物価が安い」と答えた人の割合は12.7ポイント減少し、60歳代では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が13.2ポイント減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっており、宇摩圏域では、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。

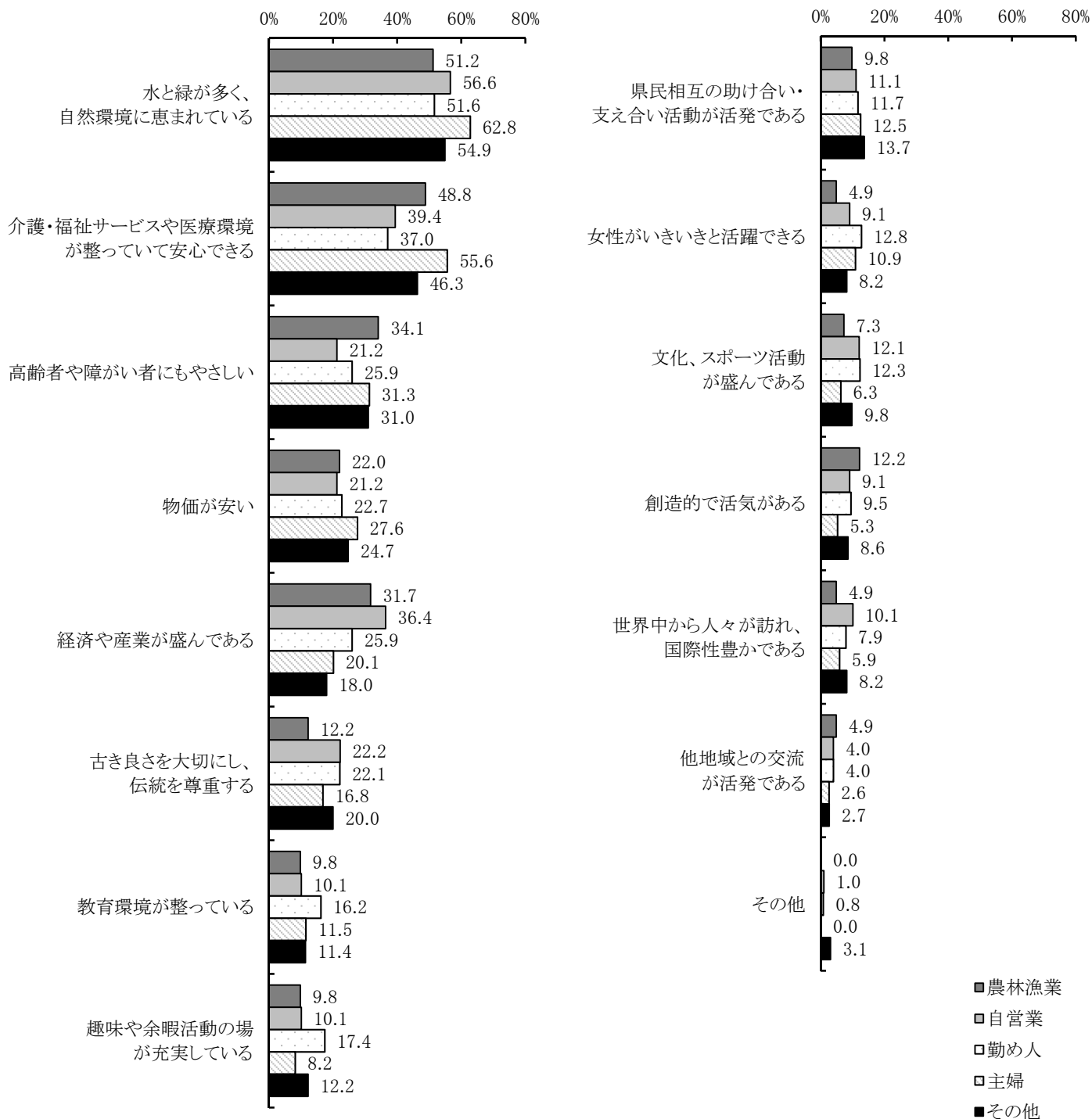
また、前回調査と比較すると、宇摩圏域では、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、18.3ポイント減少し、「経済や産業が盛んである」は、15.0ポイント増加している。八幡浜・大洲圏域では、「物価が安い」と答えた人の割合が、8.6ポイント減少している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多く、次いで「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が多くなっている。

また、前回調査と比較すると、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合は、農林漁業では18.4ポイント、自営業では14.7ポイント増加している。一方、農林漁業では「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」と答えた人の割合が、12.2ポイント減少している。



4 県政への要望

問 28 県政への要望

今後県政を進めていく上で、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

1	農林業の振興	15.2
2	水産業の振興	3.4
3	商工業の振興	3.8
4	中小企業対策	13.6
5	観光の振興	13.0
6	雇用対策	26.4
7	道路整備	22.9
8	その他	1.7

(B) 生活環境

1	介護・福祉サービスの充実	33.8
2	子育て支援対策	13.9
3	医療、保健衛生機能の拡充	16.4
4	ボランティア活動の活性化	1.2
5	物価・消費者保護対策	14.5
6	公害防止対策、自然環境の保全	4.7
7	上・下水道、ゴミ処理施設の整備	4.3
8	交通安全対策	3.9
9	犯罪防止対策	3.2
10	消防、防災対策	2.9
11	その他	1.4

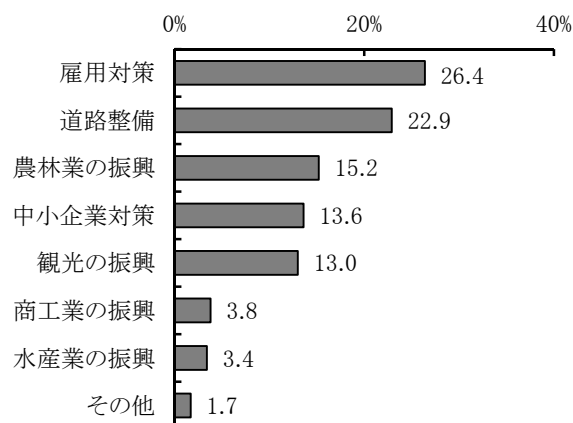
(C) 教 育

1	学校教育の充実	33.1
2	家庭教育の充実	7.4
3	社会教育の充実	20.2
4	青少年の健全育成	14.5
5	芸術、文化の振興	14.8
6	スポーツ、レクリエーション活動の助長	8.9
7	その他	1.2

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

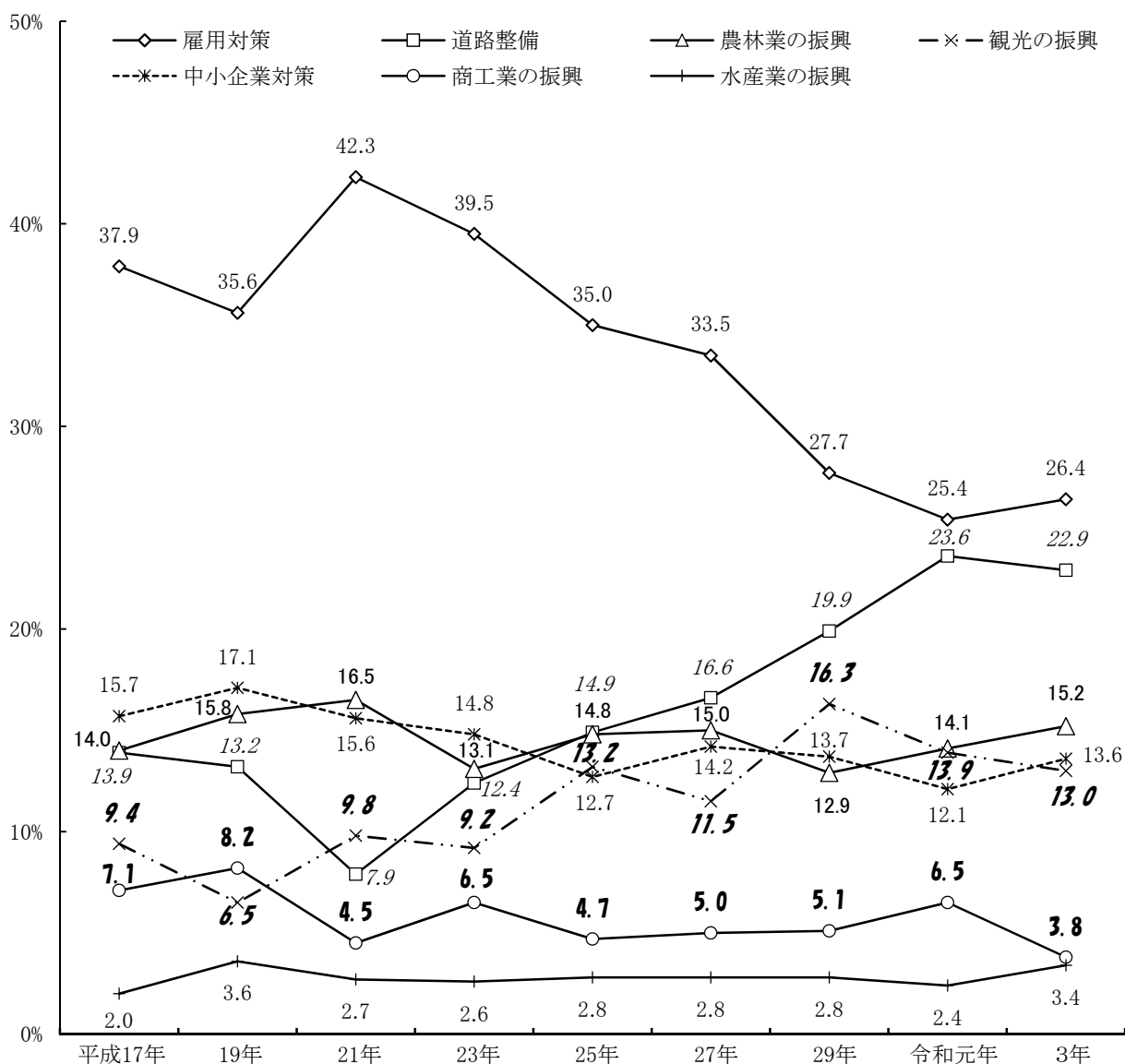
《A産業面》

産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が26.4%と最も多く、以下「道路整備」(22.9%)、「農林業の振興」(15.2%)、「中小企業対策」(13.6%)などの順となっている。



【経年変化】

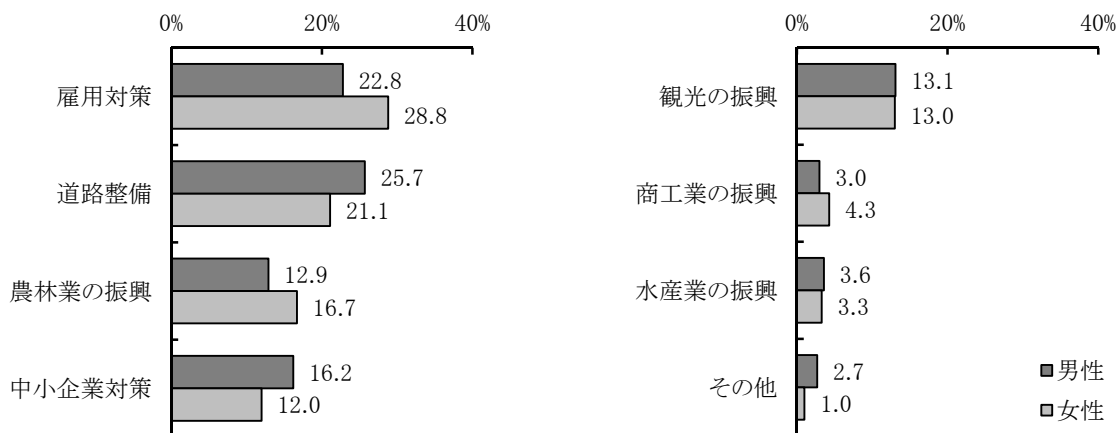
経年変化をみると、「雇用対策」と答えた人の割合は、平成21年調査以降減少傾向であったが、前回調査と比較すると、1.0ポイント増加している。「道路整備」と答えた人の割合は、平成21年調査以降増加傾向であったが、前回調査と比較して、0.7ポイント減少している。「観光の振興」と答えた人の割合は、平成29年調査以降減少傾向にあり、前回調査と比較して0.9ポイント減少している。一方、「農林業の振興」と答えた人の割合は、平成29年調査以降増加傾向にあり、前回調査と比較して、1.1ポイント増加している。



【性別】

性別にみると、男性では「道路整備」と答えた人の割合が最も多く、女性（21.1%）より4.6ポイント多くなっている。また、女性では「雇用対策」と答えた人の割合が最も多く、男性（22.8%）より6.0ポイント多くなっている。

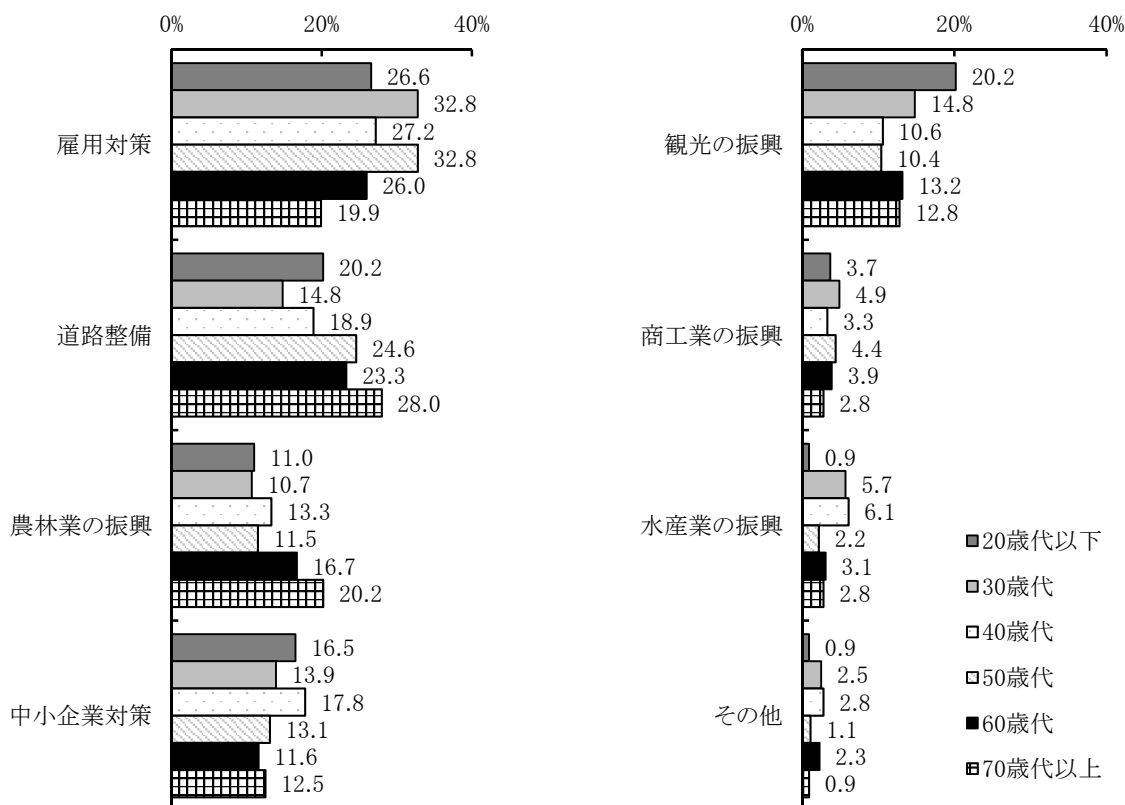
また、「中小企業対策」と答えた人の割合は、男性の方が4.2ポイント多く、「農林業の振興」は、女性の方が3.8ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以下では、「雇用対策」と答えた人の割合が最も多く、70歳代以上では、「道路整備」が最も多くなっている。

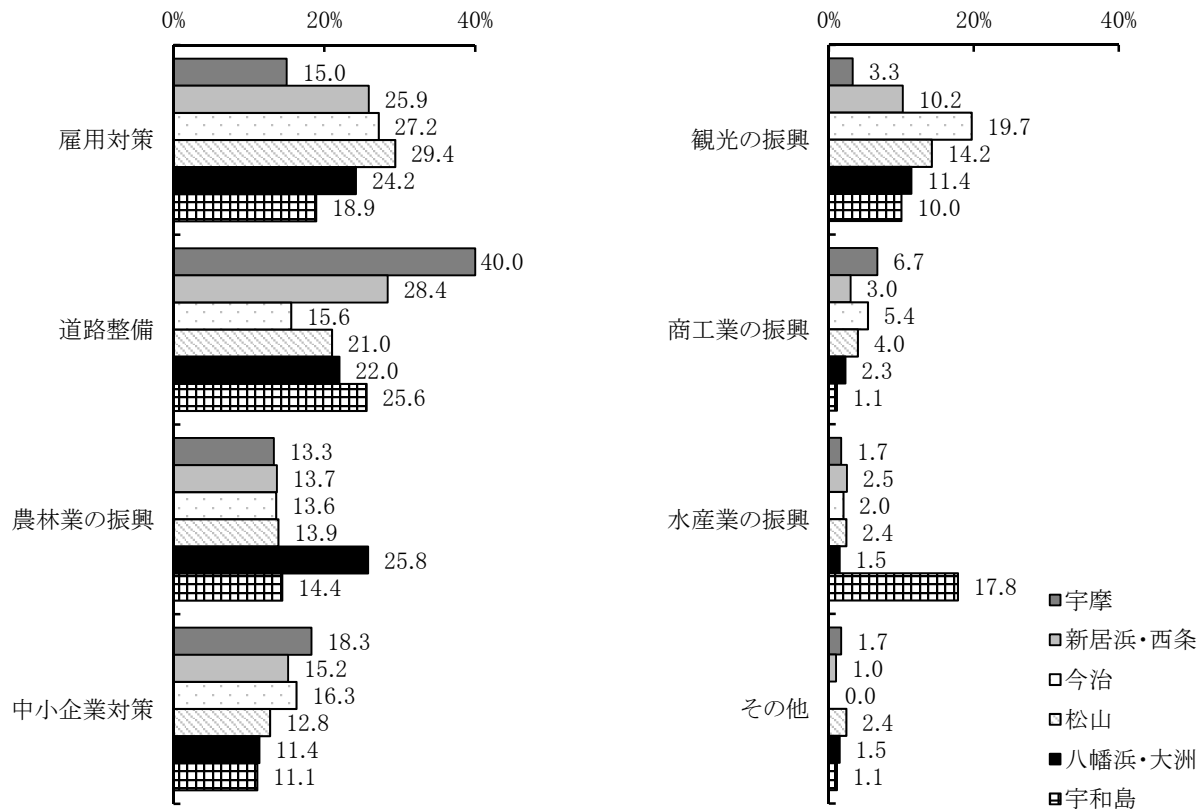
また、前回調査と比較すると、「道路整備」と答えた人の割合が、30歳代では8.6ポイント減少しているが、「農林業の振興」は、20歳代以下では7.6ポイント増加している。



【生活圏域別】

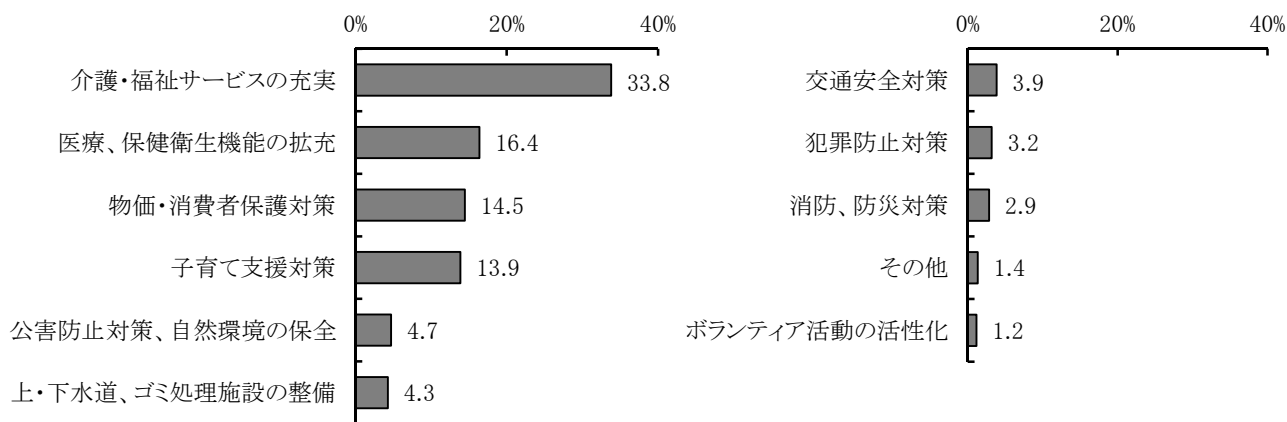
生活圏域別にみると、宇摩圏域、新居浜・西条圏域及び宇和島圏域では、「道路整備」と答えた人の割合が最も多く、今治圏域及び松山圏域では、「雇用対策」、八幡浜・大洲圏域では、「農林業の振興」が最も多くなっている。

また、「水産業の振興」と答えた人の割合は、宇和島圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



《B生活環境面》

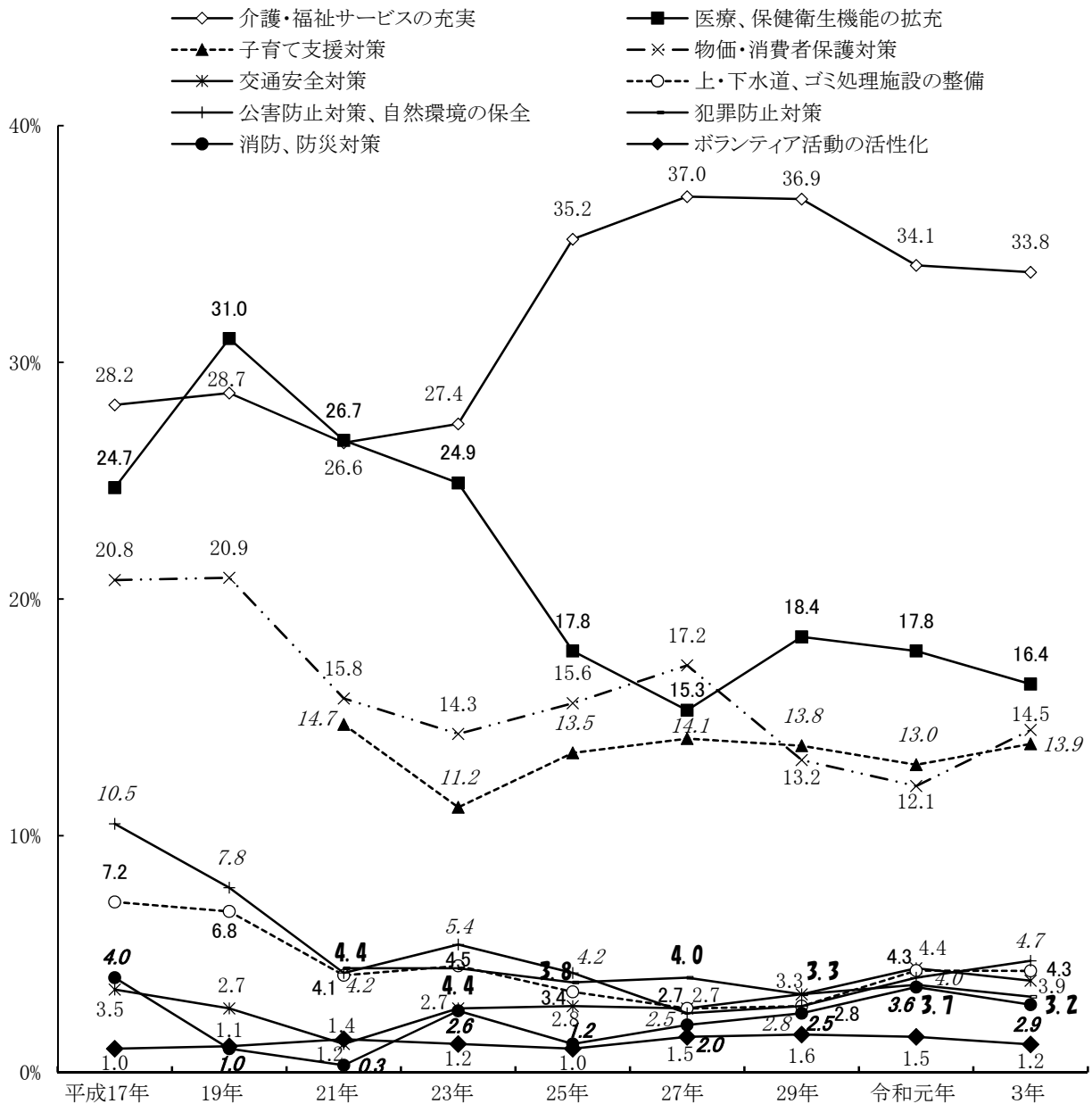
生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が33.8%と最も多く、以下「医療、保健衛生機能の拡充」(16.4%)、「物価・消費者保護対策」(14.5%)、「子育て支援対策」(13.9%)などの順となっている。



【経年変化】

経年変化をみると、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合は、平成27年調査以降減少傾向にあり、前回調査と比較して、0.3ポイント減少している。「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合は、平成29年調査以降減少傾向にあり、前回調査と比較して、1.4ポイント減少している。

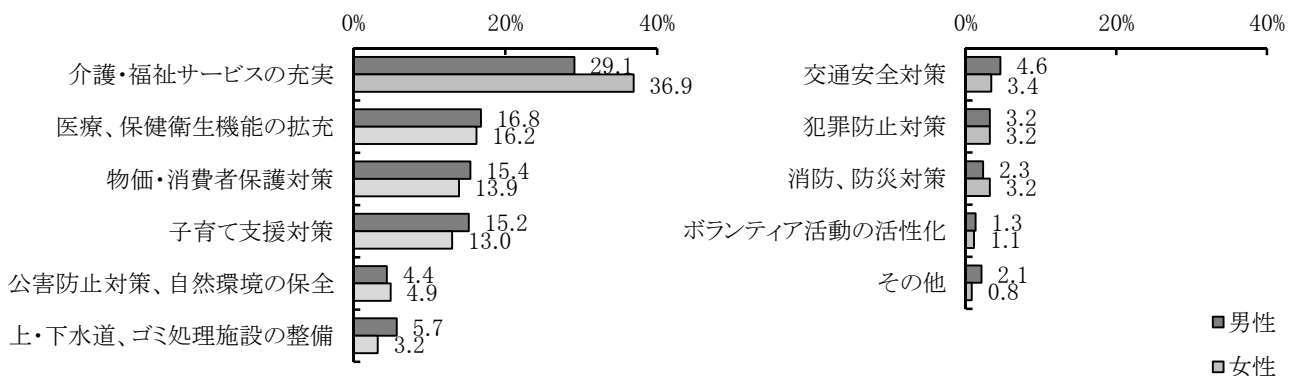
また、「物価、消費者保護対策」と答えた人の割合は、前回調査と比較して2.4ポイント増加している。



【性別】

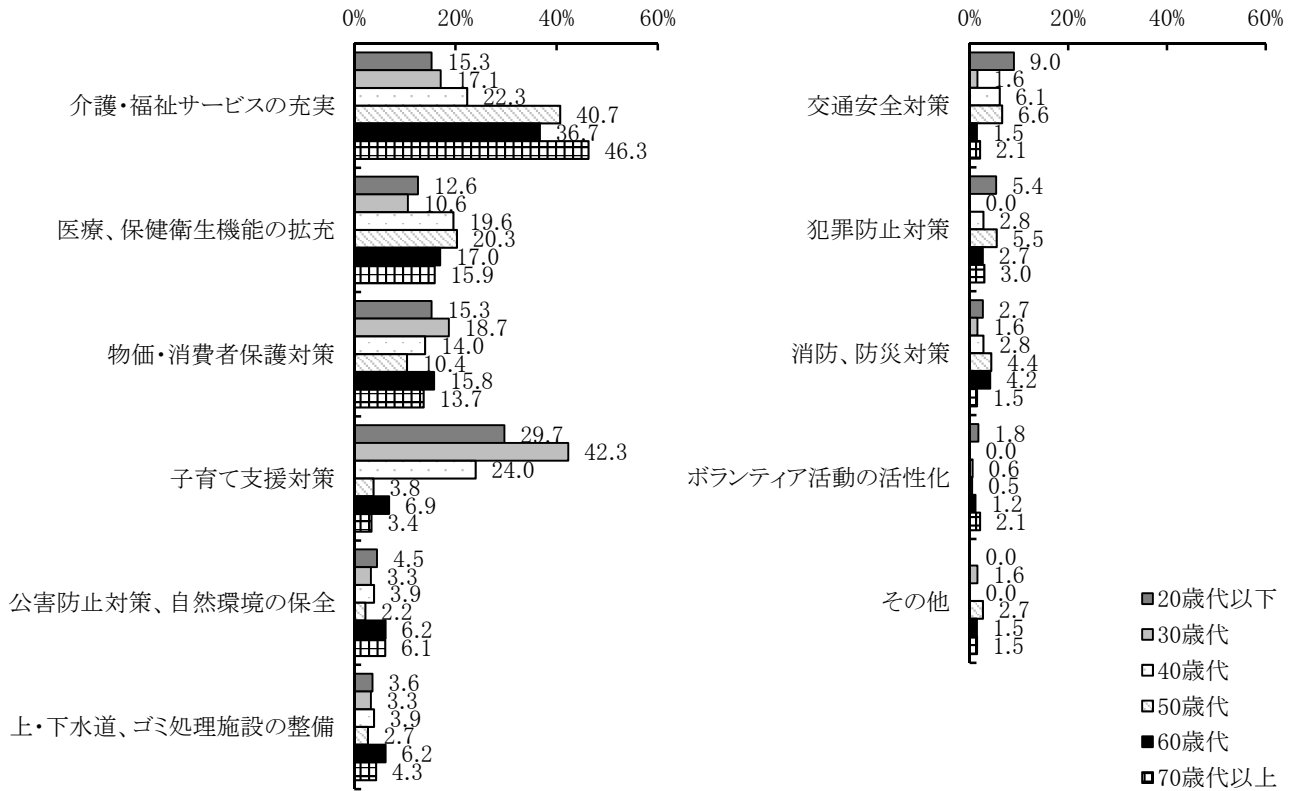
性別にみると、男女共に「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多く、特に女性（36.9%）の方が男性（29.1%）より7.8ポイント多くなっている。

また、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」、「子育て支援策」などは男性の方が多くなっている。



【年齢別】

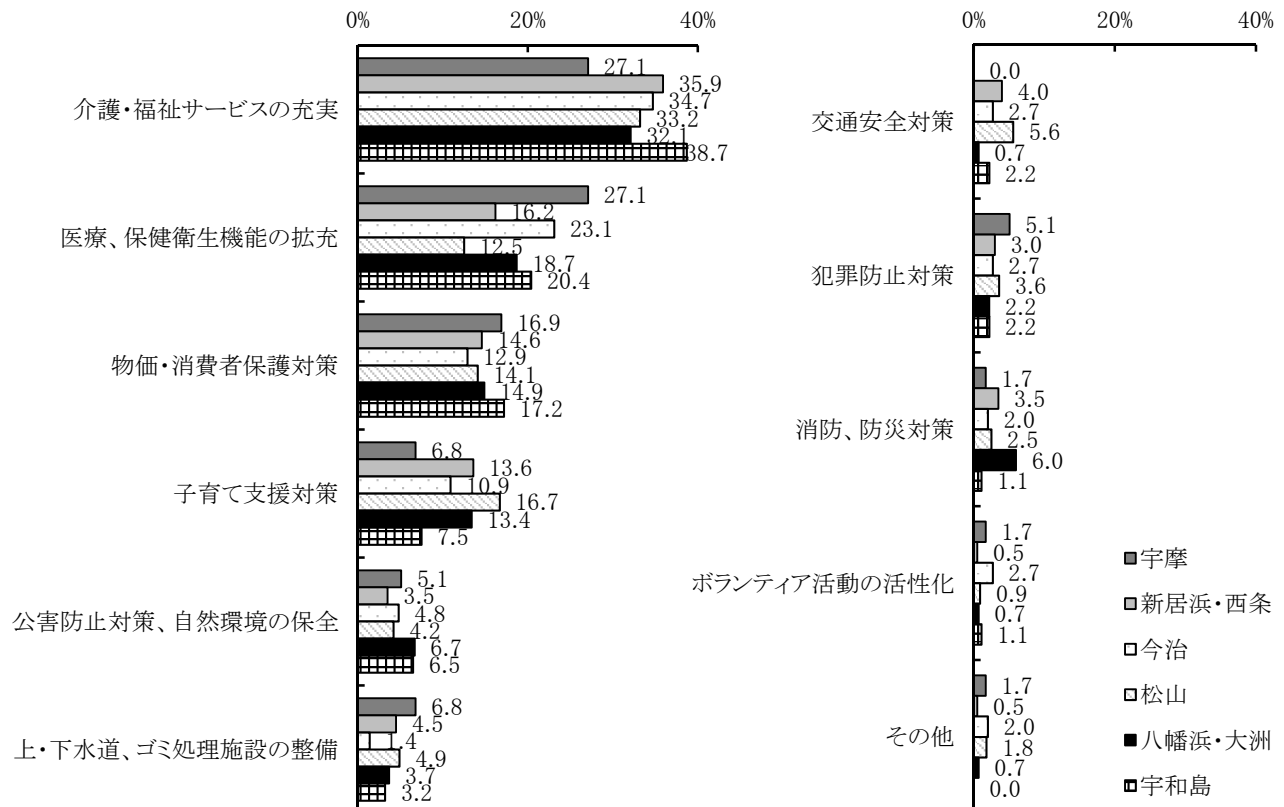
年齢別にみると、40歳代以下では、「子育て支援対策」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代で42.3%と特に多くなっている。50歳代以上では、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多くなっており、特に70歳代以上で46.3%と多くなっている。



【生活圏域別】

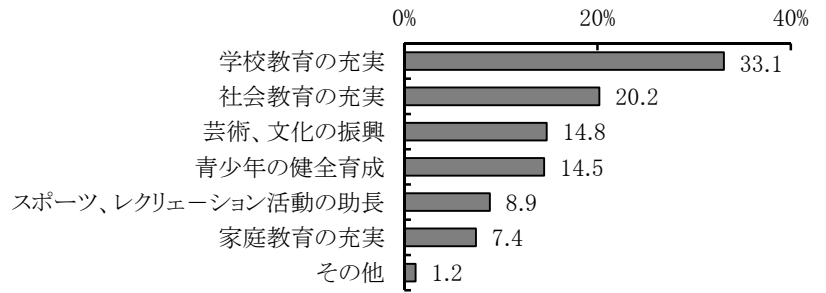
生活圏域別にみると、全ての圏域で、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、宇摩圏域では、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が同率で最も多く、他の圏域と比較して特に多くなっている。



《C教育面》

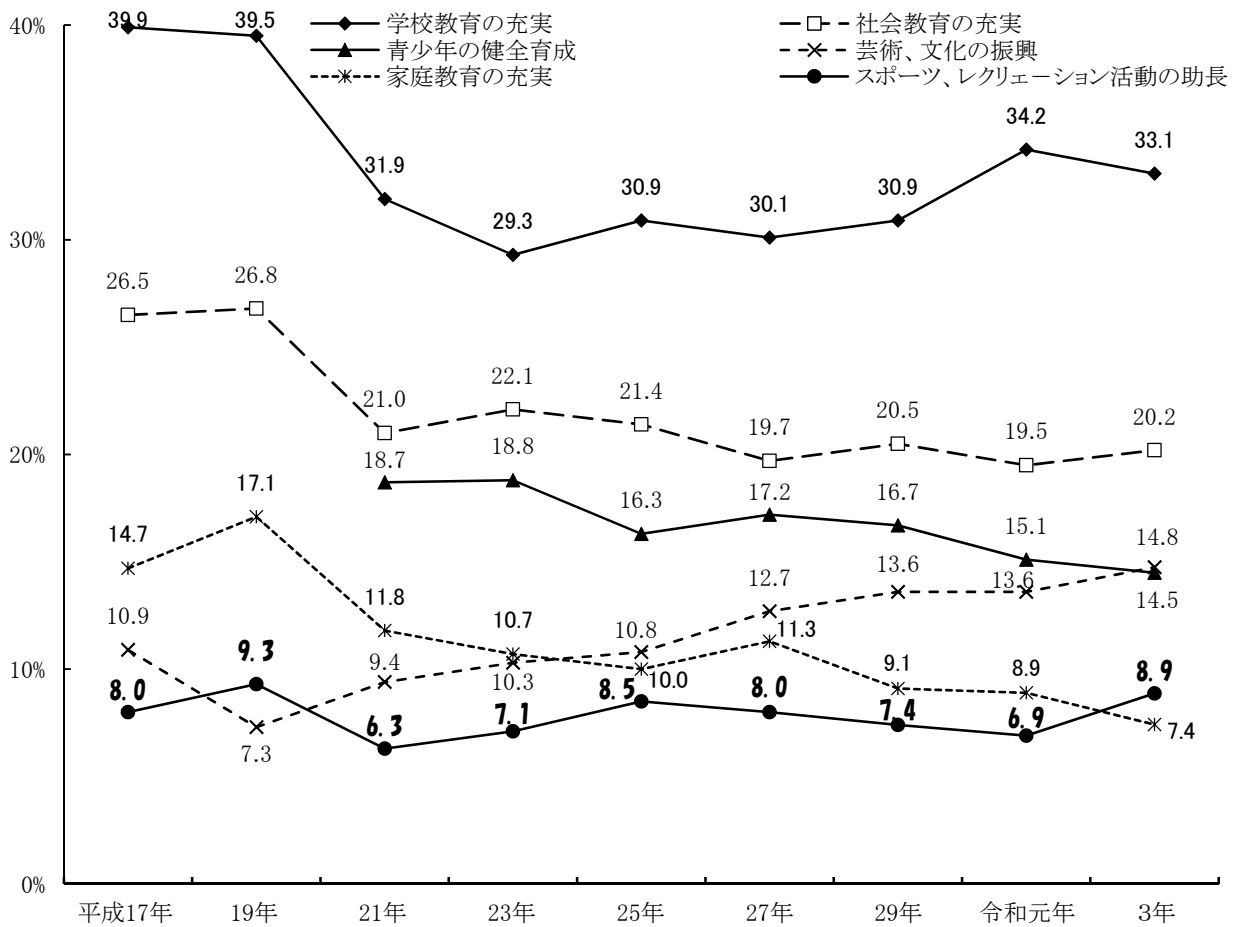
教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が33.1%と最も多く、以下「社会教育の充実」(20.2%)、「芸術、文化の振興」(14.8%)、「青少年の健全育成」(14.5%)などの順となっている。



【経年変化】

前回調査と比較すると、「学校教育の充実」と答えた人の割合は、1.1ポイント減少し、「社会教育の充実」は、0.7ポイント増加している。

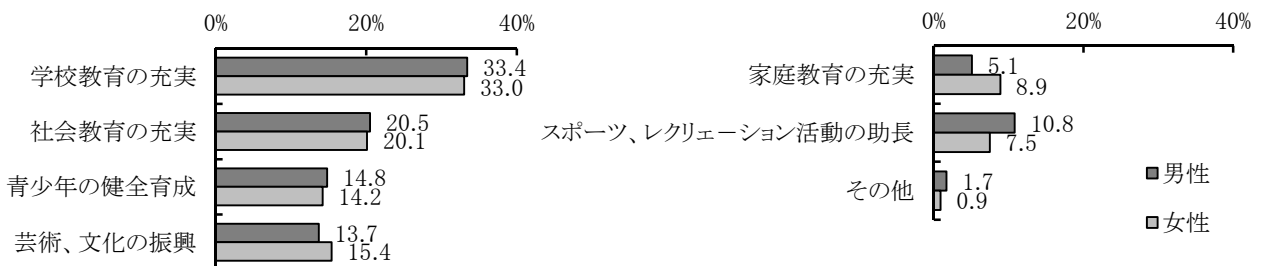
経年変化をみると、「青少年の健全育成」と答えた人の割合は、平成27年調査以降減少傾向にあり、前回調査と比較して、0.6ポイント減少しており、「芸術、文化の振興」は、平成19年調査以降増加傾向にあり、前回調査より1.2ポイント増加、「家庭教育の充実」は、平成27年調査以降減少傾向にあり、前回調査より1.5ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男女共に「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

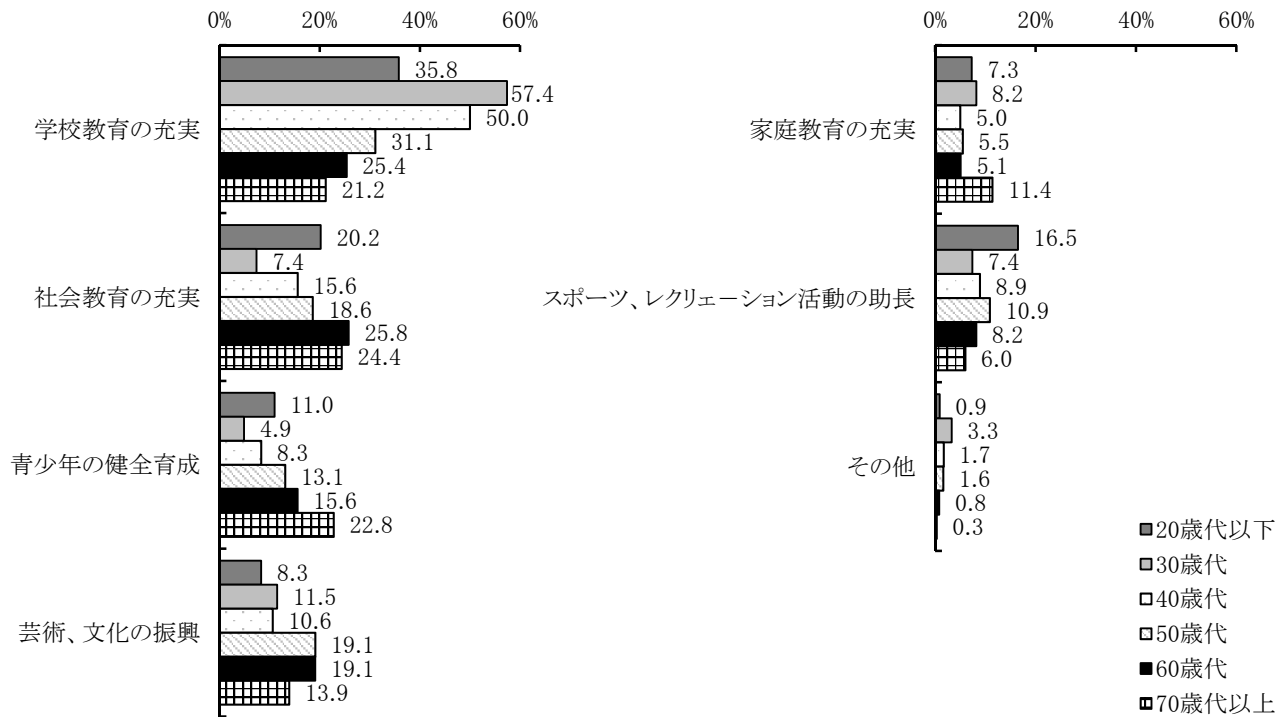
また、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」、「青少年の健全育成」と答えた人の割合は、男性の方が多く、「家庭教育の充実」、「芸術、文化の振興」は女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では、「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、60歳代以上では、「社会教育の充実」が最も多くなっている。30歳代及び40歳代以上で、「学校教育の充実」と答えた人の割合は、他の年齢層と比較して多く、5割台となっている。

また、20歳代以下では「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合が、70歳代以上では「青少年の健全育成」が他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で、「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、宇摩圏域では、「社会教育の充実」が最も多くなっている。また、八幡浜・大洲圏域では、「青少年の健全育成」と答えた人の割合が他の圏域と比較して多くなっている。

